

家庭科学習指導案

石川県立珠洲実業高等学校・教諭

指導日時・教室 平成19年10月22日(月) 5限目 教室名 家庭経営室
 対象生徒・集団 情報流通科 2年(次)生20人(内訳22H20人)
 科目名 家庭総合 (単位数 2)
 使用教科書 家庭総合 ～出会う・かかわる・行動する～ (出版社名 教育図書)

1 単元名 暮らしと家族

2 単元の目標

- ・家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりに関心をもち、男女が協力して家庭生活の充実向上を図ることの重要性に気づき意欲を持って学習活動に取り組む。
【関心・意欲・態度】
- ・男女がともに築く家族・家庭の在り方について、考えを深める。
【思考・判断】
- ・事例研究や発表などを通して、家族・家庭の在り方や生活設計などについて検討する。
【技能・表現】
- ・家族・家庭の意義、社会との関わりについて理解し、現在及び将来の家庭生活の在り方を考えるために必要な基礎的・基本的な知識を身に付ける。
【知識・理解】

3 指導に当たって

(1) 生徒の状況

同じメンバーで2年目のクラスで、気心が知れており、比較的クラス内は和やかである。男女比はほぼ同じだが、おとなしく控えめな男子生徒が多く、女子生徒の個性が強く出ているクラスである。学習に対する姿勢は前向きで、落ち着いて授業に取り組んでいる。事前の住生活の学習で、将来の自分の家族をイメージして住空間の計画をたてる課題において、ほとんどの生徒が、自分と配偶者と子どもといういわゆる典型的な家族像をイメージしている。家庭においての家事体験も乏しく、性別役割分業の意識も強い生徒が多い。

(2) 指導方針・方法

様々な家族の形があり、それぞれの家族・家庭ごとに社会との関わり方があることに気付かせたい。自分の家族観を見つめ直し、他者の家族観についても知り、現在を見つめ直すことは、将来の家庭生活と職業生活の在り方につながることも強調したい。男女が共に家庭生活の責任を果たし、男女共同参画社会を構成する一員としての自覚をもたなければならないことに気付かせたい。また、明治民法と現行の民法との違いから、家族関係のとらえ方がどのように変化してきたかを考えさせ、家庭生活と法律のつながりが人の一生にわたることにも気付かせたい。

(3) 教材選定の理由

家庭生活において、男女がともに対等なパートナーとなって職業労働と家事労働を行うことの重要性について認識させたい。男女間の意識に差があると予想されるので、クラスメイトと意見を比べることで学ぶことも多いと考えている。

例えば、現実に職業生活を送っていない生徒にとって、ロールプレイを通じて、実際に自分がその立場であったらどうするかを考えるきっかけにしたい。また、ロールプレイは他の人の考えを知る方法としても有効であると考えている。ロールプレイを通して考え、学んだ職業生活と家庭生活の両立において重要なことを、ランキングでまとめるという方法で学習を進める。

4 単元の指導計画(総時数 8 時間)

第一次	日本の家族の移り変わり	(2 時間)	} 本時
第二次	社会の変化と家族	(1 時間)	
第三次	社会を映す家族問題	(2 時間)	
第四次	これからの家族	(3 時間)	
1時	職業生活と家庭生活の両立を考える		
2時	生活時間調査と分析・職業労働と家事労働の特徴		
3時	男女の平等と相互協力		

5 本時の指導と評価の計画（第四次の第1時および第2時）

(1) 本時のねらい

- ・各自が担う家庭での役割や家族関係の在り方について、考えようとしている。
【関心・意欲・態度】
- ・家事労働と職業労働の意義や特徴、現状と課題について理解している。
【知識・理解】
- ・職業生活と家庭生活の両立について考えている。
【思考・判断】

(2) 準備・資料等 ワークシート①・②、はさみ、のり

(3) 本時の展開

<第1時>

時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】（評価方法）
5分	学習内容の確認	・職業生活と家庭生活の両立について学習することを確認する。	・前時の学習を振り返り、職業生活と家庭生活の両立について考えることを伝える。	
35分	<p><展開Ⅰ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例の会話文に続く会話を考える。 ・グループ内の他の人がどんな会話文を考えたか知る。 ・ロールプレイングで会話文を発表する。 	<p>事例の共働き夫婦の会話文に続く会話を完成させよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの事例について、自分ならどう発言するか、会話文を考え、記入する。 ・向い合ってグループになり、他の生徒がどのような意見をもっていたのかを知る。 ・グループで考えた会話文をロールプレイで発表する。 ・他のグループの意見を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート①を配付する。 ・事例について、それぞれの立場になって自分ならどう発言するか、会話文を記入するよう説明する。 内容が相手に伝わりやすいよう短い文章は避けるよう指示する ・机を合わせ3～4名のグループになるよう指示する。 ・グループ内でお互いが考えた会話文を読み合う。 ・グループの中で1つ会話文を選択し、改良を加え、前に出て、ロールプレイをするよう指示する 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自が担う家庭での役割や家族関係の在り方について考えようとしている。 【関心・意欲・態度】（ワークシート）
10分	・ワークシート①をまとめる。	・他のグループの意見を聞いた感想を書く。		

<第2時>

5分	学習内容の確認		・前回の授業を振り返り職業労働と家事労働の違いについて学習することを伝える。	
15分	<ul style="list-style-type: none"> ・家事労働と職業労働の違いを知る ・生活時間 	<p>家事労働と職業労働の違いは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事労働と職業労働の違いを知る ・男女の家事に従事する時間の比較 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート②の配付。 ・職業労働と家事労働の特徴をまとめる。 ・有職業成人男女、無職成人女性、高校生の生活時間と家事の占める割合のグラフを提示し、どのような特徴があるか考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家事労働と職業労働の意義や特徴、現状と課題について理解している。 【知識・理解】（ペーパーテスト）

<p>25分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の自立した生活とは何か <p><展開Ⅱ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランキング方式で職業生活と家庭生活を両立させるために、大切なことは何かをまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内の他の人がどのようなランキングにしたのか知る。 	<p style="border: 1px solid black; text-align: center;">職業生活と家庭生活を両立させるために大切なものは何かまとめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業生活と家庭生活を両立させるために必要なものを考える。 ・黒板のキーワードをワークシートに記入する。 ・黒板のキーワード以外に必要なだと思うものがあれば、9個目のマスに記入する。 ・キーワードの重要度に順位をつけて、ダイヤモンド型に置き、職業生活と家庭生活を両立させるために大切なことは何かを考え、まとめる。 ・グループ内の他のメンバーが1位にした項目をワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女がともに家庭生活の責任を果たし、人間らしい生活を追究していくために必要なことは何か、これから考えることを伝える。 <p style="border: 1px solid black; text-align: center;">職業生活と家庭生活を両立させるために大切なものは何かまとめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何人かを指名して、必要と思われるキーワードを黒板に記入していく。 ・キーワードが8個以上出ない場合は、ヒントを出して答えを誘導する。 ・列挙された項目について、それぞれに順位をつけ、ダイヤモンド型に配置して、のりで貼りつけるよう指示する。 ・順位づけの理由を考え、ワークシートに記入するよう指示する。 ・グループ内でランキングを見せ合い、どの項目を1位にしたのかワークシートに記入するよう指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活と家庭生活の両立に必要な要因を考えている。 【思考・判断】 (ワークシート)
<p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の演習の感想をワークシート②にまとめる。 		